

株式会社 トダコーポレーション

京都の伝統文化を活かしながら新しい商品開発の設備導入事業計画

顧客が求めている多様なデザインと短納期に対応する為に、UVインクジェット印刷機、レーザー加工機を用いて試作を内製化し、表現豊かでより美しい製品を制作する。

■ 代表者	戸田 慶吾	■ 所在地	〒601-8046 京都市南区東九条西山町7-2
■ 設 立	1999年2月1日	■ TEL/FAX	TEL. 075-691-8501 / FAX. 075-691-8951
■ 資本金	10,000千円	■ URL	https://hakonoshitateya.com
■ 従業員数	19人	■ E-mail	toda@wa-box.com
■ 業 種	パルプ・紙・紙加工品製造業	■ 得意分野	貼り箱制作

目的、取組のきっかけ

◆ 当社の事業

自社を『箱のしたて屋』と命名し、新しい貼り箱に出会う機会、新しい展開を試みております。私たちのブランドコンセプトは、魅了するセンスと職人力のクオリティー。「美しい」「面白い」「ぬくもりがある」など、感性に直接響く「センス」と、ひとつひとつ仕上げていく職人力の高さを大切にしています。



社屋外観

ユーザー様からは、素材の特性を最大限活かし、様々な用途目的に合わせて加工ができると高い評価を得ています。



工場写真



ショールーム

◆ 取組みのきっかけ

近年の包装箱といわれる貼り箱のニーズは、スピードや価格より「品質にこだわる」傾向にあります。品質にこだわる貼り箱の種類は多岐に渡り、化粧品や腕時計のみならずスマートフォンやバレンタインチョコレートに至るまで、高付加価値商品によく採用されるようになりました。高付加価値商品用の包装箱に対する要求は、主に包装箱への印刷や表面加工です。当社の加工技術は基本的にカッティング技術でしたので、お客様と商談を進める上で非常に重要な試作品については、印刷と表面加工は外注する必要がありました。

◆ 新たな挑戦

近年の品質にこだわった包装箱へのニーズの高まりをチャンスと捉え、新たな設備を導入し、包装箱への直接印刷、桐箱への直接彫刻を自社で行うことで、加工技術を向上させて、高付加価値商品を提供することを目指しました。そして、試作品作成時に外注していた一部の工程を内製化することで、試作品の提供スピードを向上させ、お客様から更に信頼される企業を目指すことにしました。

取組内容

◆ 取組み内容

高付加価値商品用の包装箱への顧客ニーズに対応するために、「インクジェットプリンタ」と「レーザー加工機」を導入し、自社の加工技術を向上させ、高付加価値包装箱を製造するだけでなく、内製工程の深化にも取組みました。

◆ 加工技術の向上

インクジェットプリンタとレーザー加工機を導入することにより、今まで当社ができなかった包装箱への直接印刷、桐箱等への直接彫刻ができるようになり、当社の製品に更なる高付加価値を付けることができました。少品種多量生産の商品は、これまで通り全体最適化のために、部分的に外注先を使って製造しますが、多品種少量生産の商品については、自社で製造することができますので、ブライダル向け商品などの顧客別オリジナル商品などに対応することができるようになりました。



インクジェットプリンタ商品写真



レーザー加工商品写真

企業概要

当社は昭和10年からパッケージ(包装箱)の製品を製造販売している企業です。食品などのギフト用包装箱、法衣仏具・念珠などを入れる包装箱、和装小物、着物などを入れる包装箱などを企画・製造し、京都地区を中心に全国に販売しています。

主要製品



日本酒ギフト箱



扇子化粧箱

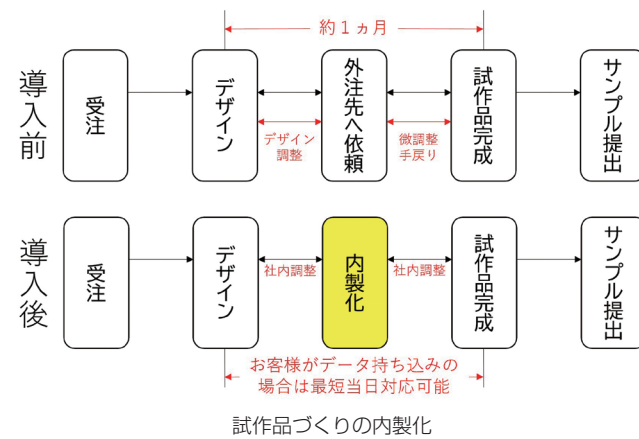


ギフトボックス

◆ 妥協のない商品づくり

これまで、デザイン案の作成から試作品の完成まで、一部の工程を外注しているため約1ヵ月間の納期がかかっていました。また、外注しているため、デザインの細かい修正が入れにくく、デザインや表現にも妥協せざるを得ないことが発生していました。

外注部分を内製化したことで、自社内で簡単に繰り返し試作を行うことができ、短期間で、外注よりもより精度の高い商品づくりが可能となりました。試作品の内製化によってデザイン、品質面において妥協のない商品づくりが、可能になりました。

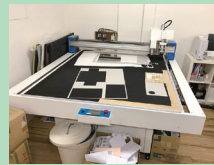


◆ 試作費用の削減

試作品づくりを内製化することにより、外注費を削減することができました。上述した通り、1個の試作品を完成させるまでに約1ヵ月の期間がかかります。試作品づくりは、当初の設計通りにスムーズに進むことは少なく、大きさの微調整や、デザイン・色の調整が入ります。このような微調整が入れば入るほど、試作品作成費は増大していきます。この部分を内製化したことによって、目に見えるコスト削減ができただけでなく、細かなニュアンスが外注先に伝わらないストレスなども減らすことができました。

主な保有設備

全自動貼り箱製造機、半自動貼り箱製造機、手貼り用糊付け機、タック加工機、Vカット製造機、CAD/高性能カッター機、UV-LED硬化インクジェットプリンタ、レーザー加工機



高性能カッター機



インクジェットプリンタ



レーザー加工機

成果と今後の展開

◆ 顧客満足度の向上及び、新規顧客開拓

自社内で精度の高い商品づくりが可能となっただけでなく、短納期、低コストでの試作品づくりが可能になりました。このことにより、高付加価値パッケージを求められるお客様のご要望に対応することができ、顧客単価の改善につながっています。また、試作品づくりにも素早く対応できるようになり、顧客満足度は各段に向上しました。

これまで、難易度が高くご依頼をお断りしていた商品に対しても、自社で試作品づくりができるようになり、機会損失を防ぐことができました。また、既存顧客とより強固な関係性を構築することができただけでなく、新たなお客様とのお取引も増やすことができました。

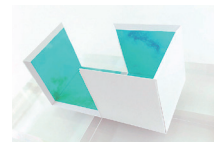
◆ 今後の展開

現在、パッケージ印刷市場は拡大傾向にあります。商品自体が高付加価値化していく中で、その商品を包み込むパッケージにも高付加価値が求められています。これらのニーズに対応するために、試作品だけでなく、少量生産から多量生産まで自社で対応できるように、一貫生産体制を構築していきます。

当社はお客様から、素材の特性を最大限活かし、様々な用途目的に合わせて加工ができると高い評価を得ています。たとえば、桐と紙を融合させた貼り箱、パッケージを開けた時の喜びを引き立てるVカット箱、段ボール素材を活かしたワインパッケージなどがあります。このような取組みを活かし、これからも『箱のしたて屋』として、新しい貼り箱に出会う機会、新しい貼り箱の世界をお客様と共に創造して行きたいと思います。



桐の風合いを蓋で出し身箱は紙の貼り箱



Vカット箱



段ボール素材で作ったワインパッケージ